

NOKYOKO

差出人: Haruhisa Wago <h_wago25@saitama-med.ac.jp>
送信日時: 2017年2月1日水曜日 18:10
宛先: NOKYOKO
件名: Re: (重要) 注意喚起情報 (KKR水府病院)

分類項目: 分類項目 緑

看護部長 中西京子先生

はじめまして。埼玉医科大学の和合でございます。下記のメールを拝受しました。入試業務、国家試験対策などに追われてご返事が遅れましたこととお詫び申し上げます。

さて、下記の注意喚起情報を拝見しました。私は、免疫学的見地から、無脊椎動物の体表粘液レクチンや防御因子の研究と野菜のもつ免疫機能性について長年研究に従事して参りました。この中で、抗アレルギー性を発揮するレンコン成分を見出し研究発表して参りました。以前から、身近な食材でアレルギー体質を改善させたいとの思いの中で見出したものです。そして、レンコンに関する多くの取材を受けるようになり、一般的な漢方医学の立場でお話して参りました。その中にレンコンの糸ひく成分についてもお話ししてほしい旨がありましたので、事典や食品関係の書物、論文、インターネット検索などを通じて、一般的な粘膜多糖体として存在する動物性ムチンについてお話する機会がありました。

私の理解では、1)ムチンという名称は、ある種の特徴をもつ物質群(総称)であり、物質名ではないこと、2)元来、mucusを語源として、人間のほか動物の唾液や消化管などの動物粘液の成分であり、糖質化学の分野では、ペプチド鎖のセリンあるいはトレオニン残基に酸素原子を介して糖鎖がO-グリコシド結合した高分子であること、3)その糖鎖によってペプチド鎖は守られており、プロテアーゼなどの分解酵素には耐性であること、4)動物性ムチンは物性として、抗菌性があり、ドライアイや胃潰瘍などにも関係し、広く動物性ムチンが生命維持に関わっていることなどを学びました。一方、食品化学の分野でも、ブリタニカ国際大百科や栄養素事典、栄養成分小事典はじめ、多くの食品・野菜関係の書物などから、ムチンと表記された植物性ムチンのことを知りました。このムチンは動物のものとは異なり、高分子多糖体に短いタンパク質がつながっていることも知りました。私自身、ムチンの専門家ではありませんので、一般的な内容でしかお話はできませんでした。

ムチンに関する情報はインターネット上で枚挙にいとまがないほど多数発信されております。私が書物や取材でお話しているムチンの機能性については、動物を含む人間の粘膜上に分泌される分泌型ムチンでありまして、植物のことを伝えているわけではございません。

今後、先生がご指摘のように、植物にムチンがないということであれば、ネバネバ成分の生化学的研究が今後重要ななるかと思えます。下記のアドバイスにもありますように、再発防止を心がけて、今後、注意を喚起して参ります。種々の貴重なご指摘に感謝申し上げます。誠に有難うございました。和合治久

From: NOKYOKO
Sent: Saturday, January 28, 2017 10:53 PM
To: h_wago25@saitama-med.ac.jp
Cc: hokeniryu@saitama-med.ac.jp
Subject: (重要) 注意喚起情報 (KKR水府病院)

埼玉医科大学 保健医療学部

和合治久 先生

(厚生労働省をはじめ、全国の地方厚生局にもお知らせしています。)

看護師 中西京子です。

全国各地で、医師、管理栄養士など医療・介護・福祉・保健関係者から、各種メディアを通じ、サトイモやオクラの「ムチン」について誤った情報が発信されているケースが多数確認されています。

(

<http://hon.gakken.jp/book/2380062800>

<https://www.nagaokashoten.co.jp/jitsuyou/book/9784522431030/search/>

)

サトイモやオクラなどの植物に含まれるぬめり成分を「ムチン」と呼び、「糖タンパク質」とする情報がありますが、それらはすべて、ヒトや動物の粘液を構成する糖タンパク質と混同した「とんでも説」です。

動物性糖タンパク質とは違って、植物性糖タンパク質にはぬめりは一切なく、(加熱)調理してもヒトの体内でも分解されることはありません。

「ドライアイを予防する」「胃炎や胃潰瘍を予防する」「肝機能・腎機能を高める」

「免疫力を高める」「疲労回復効果」といった、

ムチンの健康効果に関する情報は完全な誤りですので、周知徹底、再発防止にご協力願います。

「理由」についてはこちらをご覧ください。

(

<http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/download.php/KY-AA12504266-05->

[02.pdf?file_id=34590](http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/download.php/KY-AA12504266-05-02.pdf?file_id=34590)

)

KKR水府病院看護部長

兼社会貢献委員会設立準備室室長

ラクトース研究班「いもいち2025」 班長

中西京子

〒311-4141 茨城県水戸市赤塚1-1 水府病院内

029-309-5000 (代表) 029-309-6576 (直通)

<http://www.kkr-suifu.com/nurse/about/message/index.html>

病院力を、地域力に。“医療人の英知糾合とイノベーションのために！”

<http://kankan2025.jp/>